

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	港区
学 校 名	大阪市立三先小学校
学校長名	中野 浩

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、算数）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

(2) 質問紙調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・三先小学校では、第6学年 59名

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の正答率では、国語Aで4.8ポイント、国語Bで4.5ポイント全国を下回っている。領域においては、国語A、Bとも、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の4領域すべて全国を下回っており、特に「書くこと」について全国との差が大きい。
算数科では、算数Aで3.6ポイント、算数Bで3.9ポイント全国の正答率を下回っている。領域においては、算数Aで「量と測定」、算数Bで「図形」で全国との差が大きい。
無答率においては、国語A・B、算数A・Bいずれとも全国に比べて低い。最後まであきらめず問題に取り組んでいる児童が多い。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

本年度は、国語A・国語Bとも全国の正答率を下回った。しかし、漢字の読みに関しては、正答率が全国を上回っている。朝学習、習熟度別学習等の地道な取り組みの成果が基礎的事項の定着につながってきている。今後、「書くこと」を中心とした言語活動の充実を図る必要がある。

〔算数〕

本年度は、算数A・算数Bとも全国の正答率を下回った。そして、「量と測定」の領域では、全国との正答率の差が昨年度より広がっている。今後も、朝学習や習熟度別学習等の地道な取り組みを継続するとともに「量と測定」と「図形」の領域について授業の充実を図っていく必要がある。

〔総括〕

標準化得点で3年間の推移を見てみると、昨年度の結果からは少しポイントが下がったが、一昨年度に比べると向上がみられる。少しのポイントの上下に一喜一憂するのではなく、今後も全学年での継続した取り組みをすすめていく。さらに、正答数の分布グラフからは、国語B、算数Bにおいて、正答数が低位にいる児童の割合が多い。個に応じた指導の工夫に取り組む必要がある。

質問紙調査より

- ・教科に関しては、「国語の勉強が好き」「国語の授業内容はよくわかる」「算数の授業内容はよくわかる」「算数で問題を解くときもっと簡単な方法がないか考える」「算数であきらめずにいろいろな解き方を考える」などの項目で、肯定的な回答の割合が全国を上回っている。国語・算数の学習に対しての意欲は高まってきている。その他、全国と比較して肯定的回答の割合が高い項目は、「家で学校の予習をしている」「授業で自分の考えを発表する機会がある」「授業でノートに目標やまとめを書く」などである。
- ・全国と比較して課題がある項目は、「テレビ・ビデオを見る時間が長い」「携帯・スマホをしている時間が長い」「家での学習時間では2極化が見られる」「読書の時間が少ない」などである。

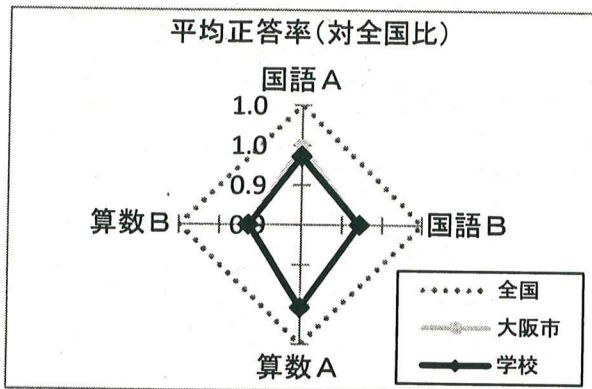
今後の取組

- ・国語科では、昨年度に引き続き、「書くこと」に課題がある。漢字の読みでは定着が図られてきているが、目的や意図に応じて自分の考えを書く力を育てていく必要がある。算数科では、「量と測定」「図形」に課題がある。具体物を使うなど操作活動を通して考える力の育成に努めるとともに、自ら課題を見つけ、考えを発表し合い、課題解決していく学びの経験を積み重ねていく必要がある。
- ・具体的な取り組みとしては、まず日々の授業の充実に努める。また、基礎・基本の定着のために行っている「朝の学習」、児童が自分でチャレンジできる「家庭学習プリントコーナー」の活用を継続して行う。さらに、国語科・算数科での習熟度別少人数授業での学習を効果的に実施することや「読書が好き」と答える児童をふやすための読書環境の充実に努める。
- ・本年度「安全で安心できる学校の実現」「豊かな育ちのもとになる体づくり」「すべての子どもに学ぶ喜び」を3つの柱で教育活動をすすめている。今後、上記の取組と共に、特に「学習に向かう体づくり」の取組を基盤とすることで、確かな学力の定着を図りたい。

【 全体の概要 】

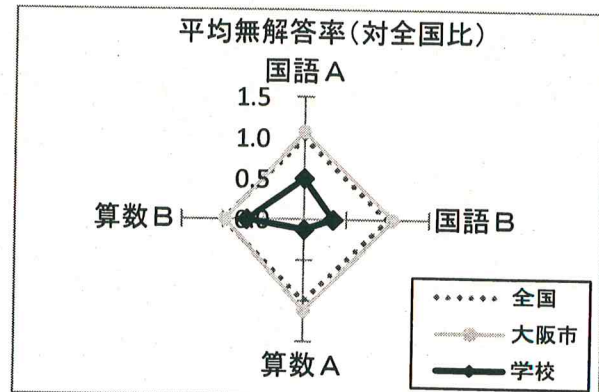
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	70	53	75	42
大阪市	71	53	75	42
全国	74.8	57.5	78.6	45.9



平均無解答率 (%)

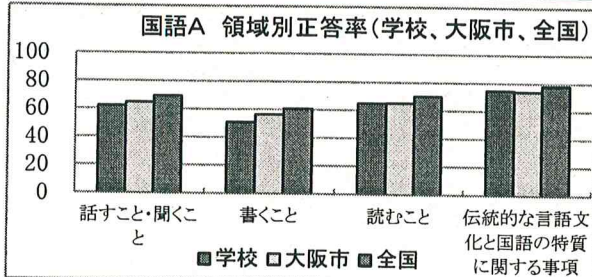
	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	1.4	1.5	0.2	4.5
大阪市	3.0	4.6	1.8	6.2
全国	2.8	4.3	1.6	6.4



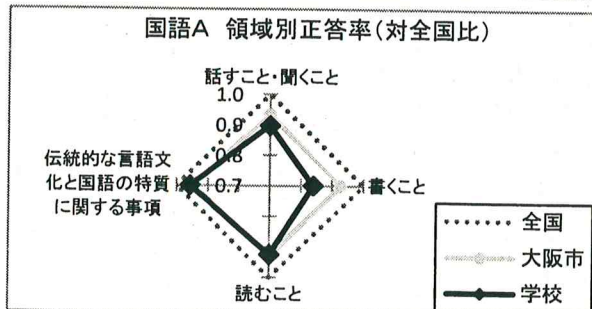
【 国 語 】

A 問題

			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	62.1	64.6	69.2
	書くこと	2	50.9	56.2	60.6
	読むこと	3	64.9	65.2	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	74.6	74.0	78.0

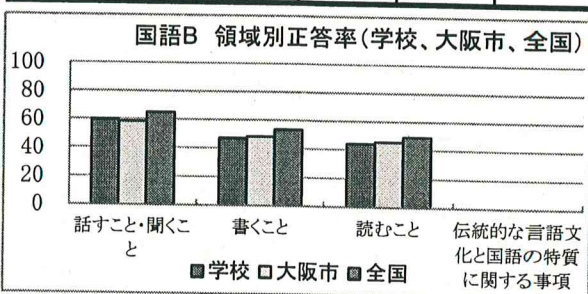


国語A 領域別正答率(対全国比)

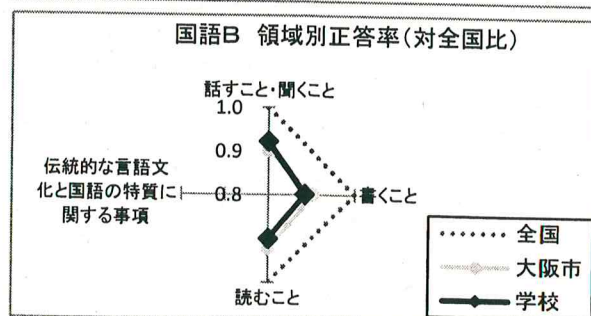


B 問題

			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	59.8	58.4	64.9
	書くこと	5	47.2	48.3	53.4
	読むこと	3	44.3	45.5	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—



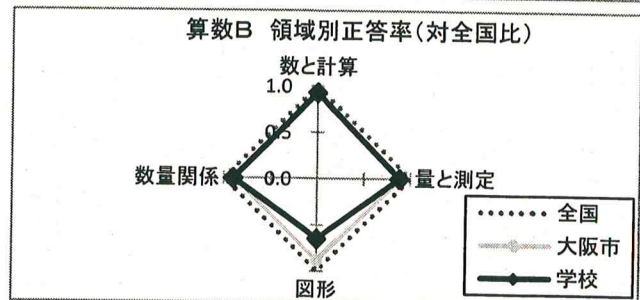
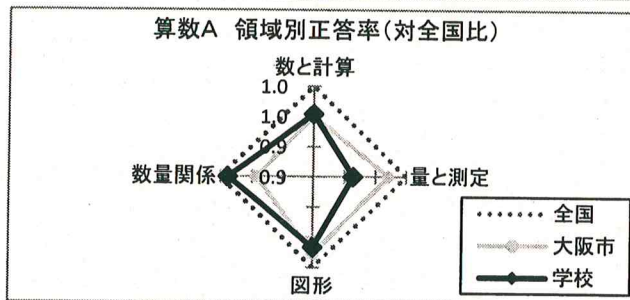
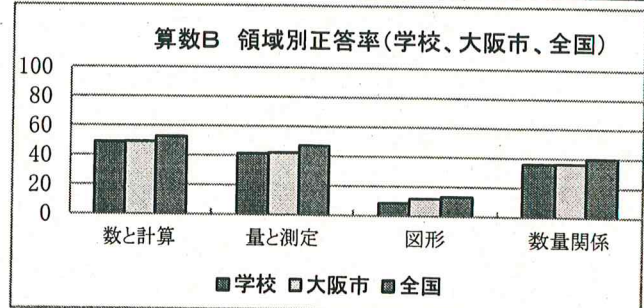
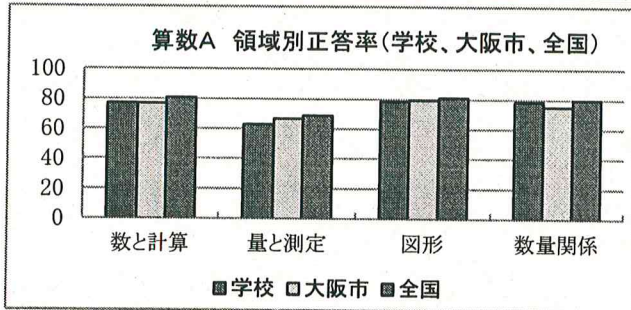
国語B 領域別正答率(対全国比)



【 算 数 】

A 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	8	76.9	76.7	80.6
	量と測定	2	62.9	66.8	68.8
	図形	2	78.4	79.3	81.1
	数量関係	5	78.6	75.0	79.6

B 問 題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と計算	5	49.0	49.2	52.8
	量と測定	2	41.4	42.0	47.0
	図形	1	8.6	11.7	13.2
	数量関係	8	36.0	36.1	40.0



児童質問紙より

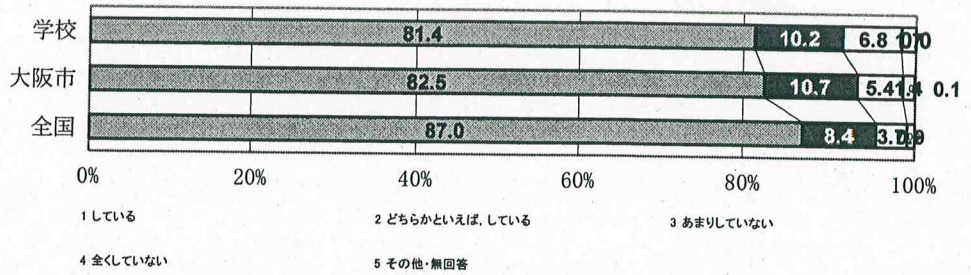
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 □8 ■9 ■10

質問番号

質問事項

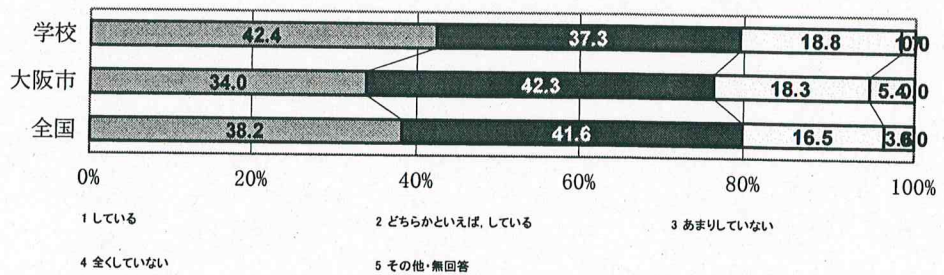
1

朝食を毎日食べていますか



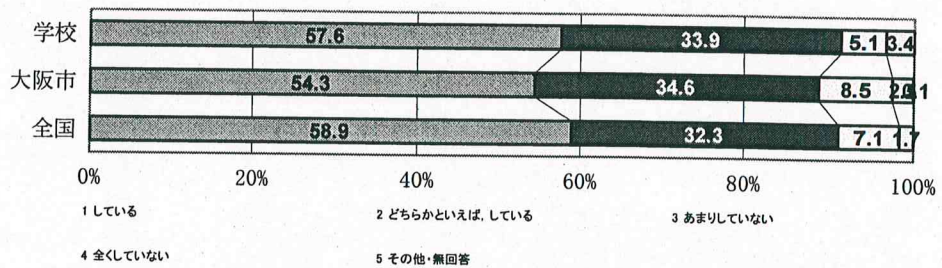
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



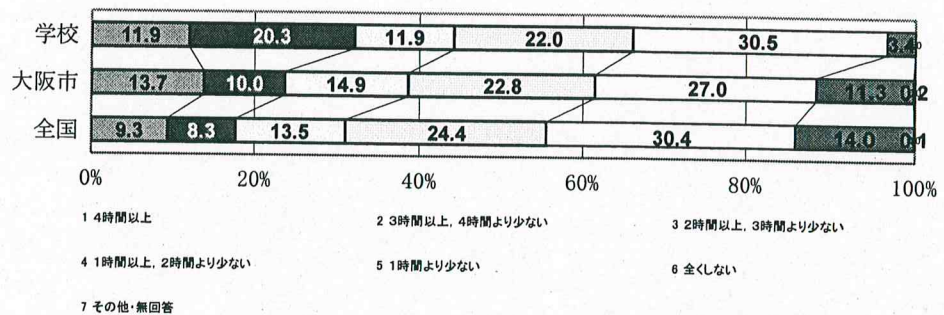
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



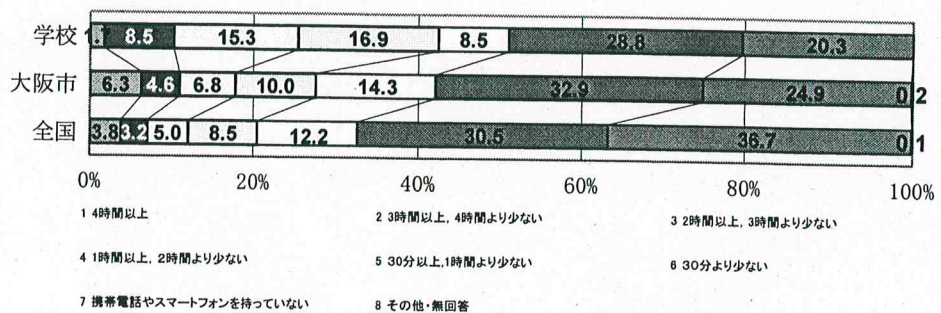
13

普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



14

普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



児童質問紙より

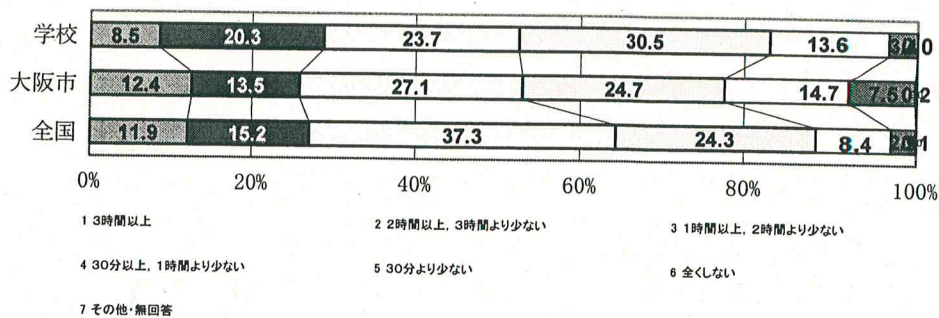
■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 □ 8 □ 9 ■ 10

質問番号

質問事項

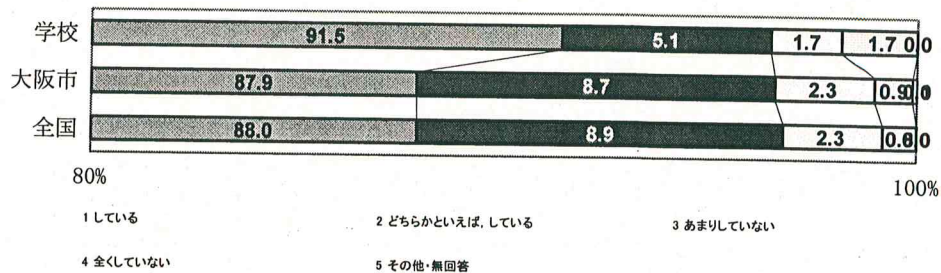
15

学校の授業時間以外に、
普段(月曜日から金曜日)、
1日当たりどれくらいの時
間、勉強をしますか(学習
塾で勉強している時間や家
庭教師に教わっている時間
も含む)



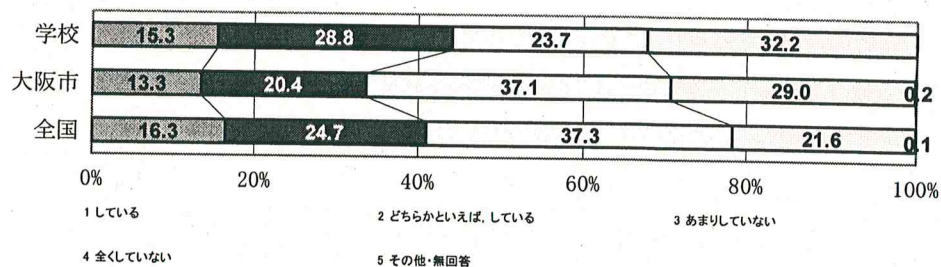
30

家で、学校の宿題をしていますか



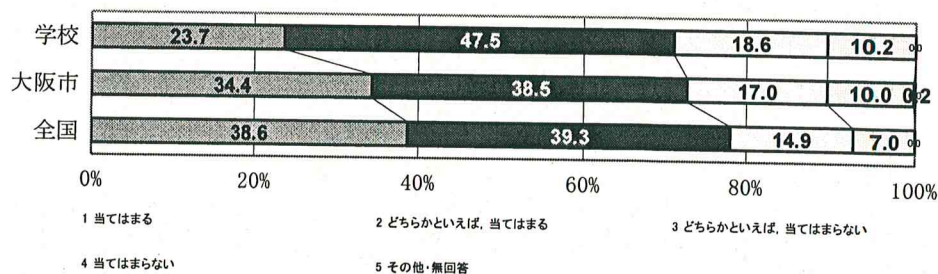
31

家で、学校の授業の予習をしていますか



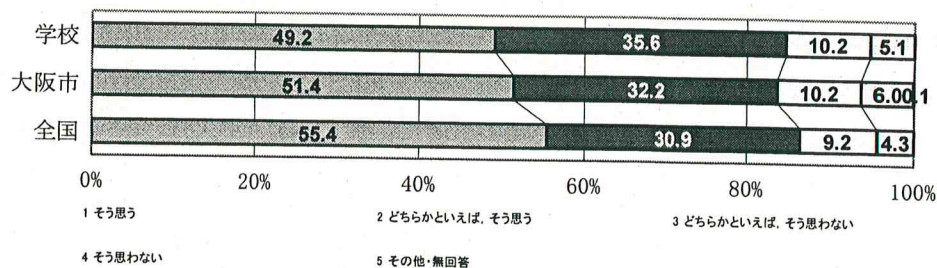
6

自分には、よいところがある
と思いますか



33

学校に行くのは楽しいと思
いますか



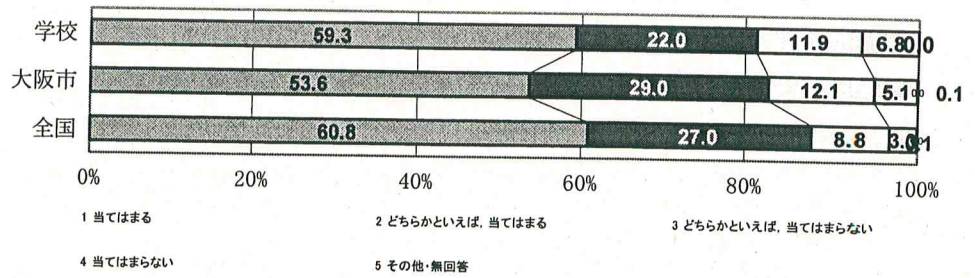
児童質問紙より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 □8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

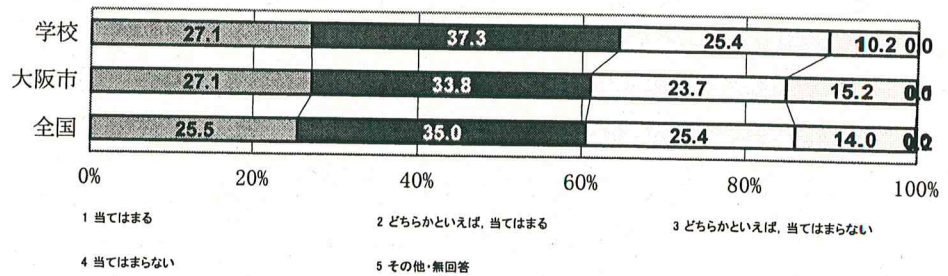
37

学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか



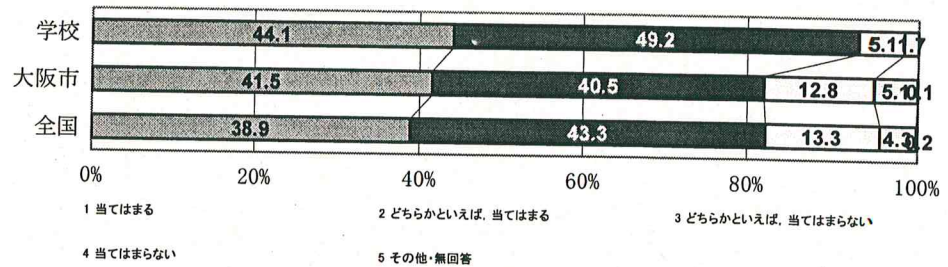
69

国語の勉強は好きですか



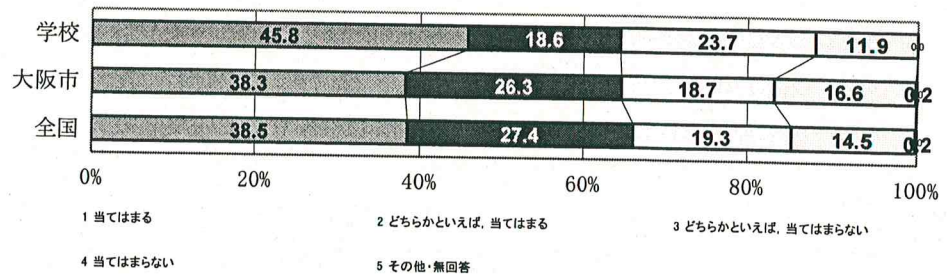
71

国語の授業の内容はよく分かりますか



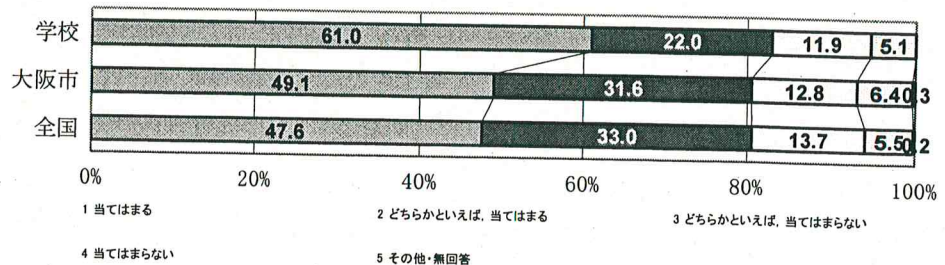
78

算数の勉強は好きですか



80

算数の授業の内容はよく分かりますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

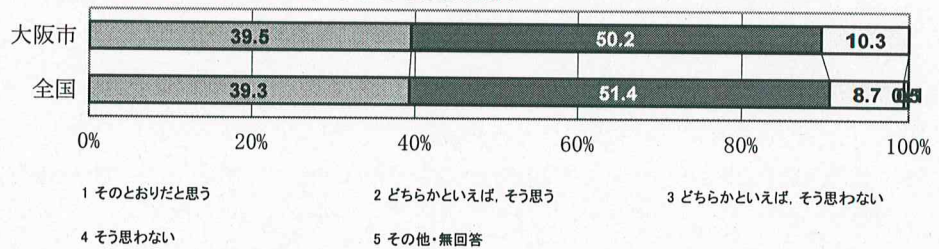
質問番号

質問事項

13

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

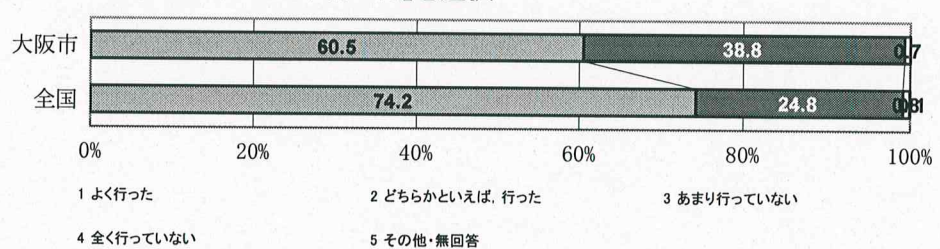
学校「どちらかといえば、そう思う」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の中で目標(めあて・ねらい)を示す活動を計画的に取り入れましたか

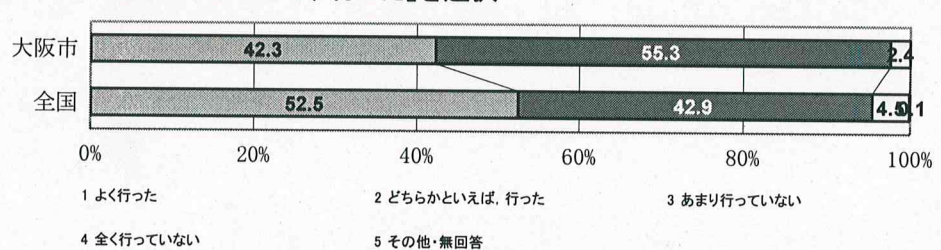
学校「どちらかといえば、行った」を選択



34

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

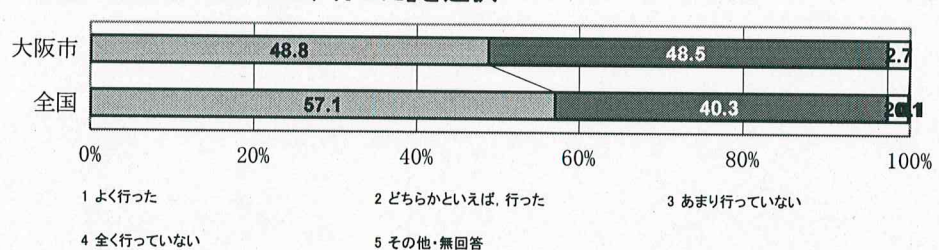
学校「どちらかといえば、行った」を選択



39

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか

学校「どちらかといえば、行った」を選択



104

授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか

学校「年間15回以上」を選択

